◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.399　（2023年度No.27）**　 　2023/6/30

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**コマクサ**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-12** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **13-14** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **14-15** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **15-21** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **21-43** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

6月23日　　かわら版398号・かわら版ニュース＆トピックス346号を発行

6月27日　　かわら版ニュース＆トピックス347号を発行

6月27日　　ニュースレター239号を発行

6月30日　　かわら版399号・かわら版ニュース＆トピックス348号を発行

今年度の年会費をお支払いください

年会費は5,000円です

郵便振替の場合　最寄りの郵便局にて

00190－6－558387

特定非営利活動法人食品保健科学情報交流協議会

または　NPO法人食科協

両方で登録してあります

　　　　銀行振込の場合　三菱UFJ銀行深川支店

　　　　　　　　　　　　普通預金口座番号1631361

　　　　　　　　　　　　名義人

特定非営利活動法人食品保健科学情報交流協議会

（トクテイヒエイリカツドウホウジンショクヒンホケンカガク

ジョウホウコウリュウキョウギカイ）

または　NPO法人食科協（NPOホウジンショッカキョウ）

両方で登録してあります

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**★***Link***新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、検疫事例）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00432.html>

**■***NEW***疾病・障害認定審査会 (感染症・予防接種審査分科会新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査第三部会)　審議結果　2023/6/29**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33769.html>

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001113128.pdf>

**■***NEW***令和５年度「こども霞が関見学デー」を開催します　2023/6/29**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/newpage_00134.html>

　４年ぶりの会場開催とオンラインのハイブリッド形式で31のプログラムを実施

プログラムの詳細や参加申し込み方法など、詳細は下記の特設サイトに順次掲載していきます。

【こども霞が関見学デー概要】

■開催日時： 令和５年８月２日（水）、３日（木）

　　　　　　　オンラインのプログラムは７月１日(土)から８月31日(木)の期間内で実施

■開催場所： 厚生労働省(中央合同庁舎第５号館) 省内およびオンライン

■参加費： 無料

■報道関係者の皆さまへ 当日の取材については、後日お知らせします。

【特設サイト】「令和５年度こども霞が関見学デーを開催します！」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/kids/2023_info.html>

別紙１：令和５年度「こども霞が関見学デー」プログラム一覧［302KB］別ウィンドウで開く

<https://www.mhlw.go.jp/content/10203000/001114803.pdf>

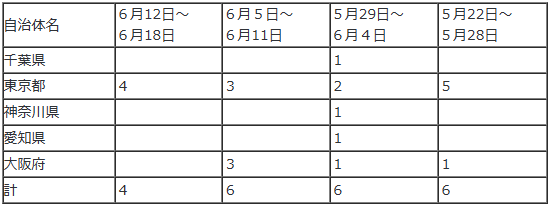
別紙２：｢こども見学デー｣ポスター［1.1MB］

**■***NEW***エムポックスの発生状況について　2023/6/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33786.html>

　　令和５年６月12日～令和５年６月18日の、エムポックスの発生状況をとりまとめましたのでお知らせいたします。

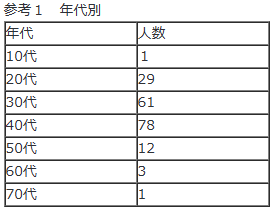
国内では、令和４年７月の国内初症例の報告以降、令和５年６月18日時点で、185例の症例が確認されています。



　※１　令和５年６月19日から令和５年６月25日分は、令和５年６月30日（金）に公表予定です。

※２　過去の報道発表資料は、下記厚生労働省ホームページをご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/mpox_press-release.html>





**■***NEW***オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について　2023/6/23**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33794.html>

　　今般、2022年初夏に茨城県で心筋炎で亡くなられた患者について、2018年に国内のマダニから初めて分離・同定されたオルソミクソウイルス科トゴトウイルス属に属するオズウイルス（Oz virus）による感染症と診断されたことが報告されました（別添１）。

　これを受けて、厚生労働省では、本感染症に関する資料（別添２、３）により都道府県等に対する情報提供を行ったところです（別添４）。

　オズウイルスのヒト感染例における発症例、死亡例は初めての報告であり、厚生労働省においては、引き続き、本ウイルスに関する情報収集や調査研究を実施し、適切な対応を行ってまいります。

　（別添）

**病原微生物検出情報（IASR）速報：初めて診断されたオズウイルス感染症患者**

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/route/arthlopod/1771-idsc/iasr-news/12108-521p01.html>

**PUBLISHED: 2023年6月23日**

**IASR-logo**

**初めて診断されたオズウイルス感染症患者**

**(速報掲載日　2023/6/23)**

オズウイルス（Oz virus:OZV）はオルソミクソウイルス科（Family Orthomyxoviridae）トゴトウイルス属（Genus Thogotovirus）に分類される新規RNAウイルスである。2018年に本邦でタカサゴキララマダニ（Amblyomma testudinarium）より分離同定され1）、野生動物の血清抗体調査によって国内での広い分布が予測されていたが2）、世界的にヒトでの発症や死亡事例は確認されていなかった。

今回初めて、発熱・倦怠感等を主訴として受診し、心筋炎により亡くなられた患者が、ウイルス学的・病理学的にOZV感染症と診断されたので報告する。

**症例**

2022年初夏、高血圧症・脂質異常症を基礎疾患にもち、海外渡航歴のない茨城県在住の70代女性に倦怠感、食欲低下、嘔吐、関節痛が出現し、39℃の発熱が確認された。新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）のPCR・抗原検査は陰性であった。肺炎の疑いで抗生剤を処方されて在宅で経過を観察していたが、症状が増悪し体動困難となったため再度受診しその後、紹介転院となった。

来院時、意識は清明で血圧121/80mmHg、脈拍数105bpm（整）、体温38.3℃、呼吸数22/min、SpO2 94％（室内気）であり、身体所見としては右鼠径部に皮下出血が認められたが皮疹はみられなかった。血液検査では、血小板減少（6.6万/µL）、肝障害、腎障害、炎症反応高値（CRP 22.82mg/dL）、CK高値（2049U/L、CK-MB 14IU/L）、LDH高値（671U/L）、フェリチン高値（10729ng/mL）があった。単純CTでは熱源を示唆する明らかな異常は認めなかった。

入院時、右鼠径部に飽血に近い状態のマダニの咬着が確認されたため、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）を含む節足動物媒介感染症も疑われた。入院後に実施された検査ではリケッチア感染症・SFTSは否定され、血液培養は陰性であった。

入院後、房室ブロックが認められペースメーカーを留置した。各種検査では心筋炎が疑われた。その後約10日で脈拍が安定したためペースメーカーは抜去した。入院20日目には意識障害が出現し、多発脳梗塞が確認されたため抗凝固療法を開始した。発熱が持続していたが、胸腹部骨盤造影CTでは明らかな熱源となり得る病巣や臓器腫大は指摘し得なかった。

治療継続中の入院26日目、突如心室細動が生じて死亡し、病理解剖が行われた。

**OZV感染症診断の経緯**

入院時に採取された全血、血清および尿に対し、茨城県衛生研究所において実施した次世代シーケンサー（NGS）によるメタゲノム解析とMePIC v2.0を用いた検索で、すべての検体からOZVの遺伝子断片が検出された。確認のためにウイルス分離試験を行ったところ、全血および血清を接種したVero細胞に細胞変性効果がみられた。さらに国立感染症研究所で培養上清を用いたウイルス粒子の電子顕微鏡観察（図）、および培養上清抽出核酸を用いたOZVの遺伝子断片を検出するRT-PCR検査、real-time RT-PCR（RT-qPCR）検査、ならびにNGSによる完全長ウイルスゲノム解析を実施し、分離された病原体がOZVであることを確認した。保管されていた全血、血清、尿、各種生検材料、解剖検体に対してRT-qPCR検査を実施したところ、いずれの検体からもOZV遺伝子断片が検出され、特に全血と心筋組織で高コピー数であった。血清を用いた抗体検査では、入院日からその後21日目までにかけてOZVに対する特異的な抗体価の上昇が認められた。心筋組織生検と解剖時の心筋組織は、病理組織学的に心筋炎の像を呈しており、in situ hybridizationにより心筋細胞にOZV遺伝子を検出した。検査結果と病理組織所見より、本症例はOZV感染により生じたウイルス性心筋炎によって死亡したOZV感染症と診断した。

**考察**

OZVは、6分節のRNAをゲノムとしてもつエンベロープウイルスで、2018年に愛媛県においてタカサゴキララマダニから初めて分離された1）。

他のトゴトウイルス属のウイルスには、Bourbon virus（BRBV）、Dhori virus（DHOV）、Thogoto virus（THOV）などがある3）。本属のウイルスの多くは、マダニまたはヒメダニから検出されており、主にマダニを媒介動物として脊椎動物へ伝播すると考えられている。これまでヒトにはBRBV、THOV、DHOVが感染することが知られていた。ヒトTHOVおよびDHOV感染症例では髄膜炎・脳炎が、BRBV感染症例では急性骨髄抑制による血小板減少、白血球減少などが現れ、これらでは致死例も報告されている3-6）。OZVはBRBVと系統的に近い1）。

日本国内の血清抗体調査では，西日本から東日本の一部の野生動物（ニホンザル、イノシシ、シカ）から抗OZV抗体が検出されているが、これまで動物での発症は報告されていない。また、ヒトにおいては限定的な調査であるが、狩猟者24人の検討において2名の抗体陽性者がみつかっている2）。一方、日本国外からは、動物およびヒトのいずれにおいても血清抗体検出やウイルス検出の報告はない。

OZVが検出されたヒト症例はこれが世界で初めての報告である。心筋生検および病理解剖組織では心筋炎の像が観察され、ウイルス核酸断片が心筋細胞から検出されており、OZVによるウイルス性心筋炎が本症例の主たる病態として矛盾しない。

OZVはマダニから分離されているウイルスであることと、本症例ではマダニの咬着が認められたことから、マダニが本ウイルスを媒介した可能性が考えられる。一方で、咬着していたマダニがもともとOZVを保有していたかは不明で、本症例が実際にマダニの刺咬によりもたらされたことを示す確実な証拠は得られていない。OZVのヒトへの感染経路は明らかになっておらず、今後の調査が必要である。節足動物媒介性ウイルス感染症により心筋炎が起こる報告はないが、BRBVでは急性心不全による死亡例が報告されており、類似の病態を呈している可能性は考えられる。

今後は、類似疾患患者の発生に注視しOZV感染症の発生状況やOZV分布地域を把握する必要がある。原因不明の心筋炎症例や、節足動物媒介感染症が疑われる発熱症例等では、OZV感染症を鑑別にあげ検索を実施することが望まれる。OZVは日本の広い地域に分布している可能性が指摘されており、マダニや野生動物における感染・保有状況を引き続き調査してウイルスの分布地域を明らかにし、感染環と伝播様式についても調査することが急務である。また、狩猟者でOZVに対する抗体保有者が存在することが報告されており、本感染症のリスクを正しく評価するためのさらなる調査が必要である。OZVの性状解析はまだ端緒についたばかりでありウイルス学的性状を明らかにするとともに、OZV感染により心筋炎等を発症する機構を解明することにより、予防・治療法の開発研究を進めていくことが喫緊の課題である。

OZV感染症の検査等についての技術的な相談は国立感染症研究所感染病理部の問い合わせ窓口〔[pathology@nih.go.jp](mailto:pathology@nih.go.jp) 〕にご連絡ください。

参考文献

Ejiri H, et al., Virus Res 249: 57-65, 2018

Tran NTB, et al., Emerg Infect Dis 28: 436-439. 2022

Roe MK, et al., Emerg Infect Dis 29: 1-7. 2023

Moore DL, et al., Ann Trop Med Parasitol 69: 49-64. 1975

Butenko AM, et al., Vopr Virusol 32: 724-729, 1987

Jonas F, et al., J Virol 96: e01556-21, 2022

国立感染症研究所感染病理部

　峰宗太郎　宮本　翔　片岡紀代　大園誠也　佐藤由子　片野晴隆　鈴木忠樹

筑波メディカルセンター病院

　　寺田教彦　宮﨑賢治　廣瀬知人　小沢昌慶　菊地和德

茨城県衛生研究所

　　大澤修一　小室慶子　阿部櫻子　内田好明　柳岡知子

国立感染症研究所

　　ウイルス第一部

　　　福士秀悦　吉河智城　林　昌宏　海老原秀喜

　　獣医科学部

　　　松鵜　彩　西野綾乃　前田　健

　　昆虫医科学部

　　　伊澤晴彦　比嘉由紀子　葛西真治

　病原体ゲノム解析研究センター

　　　黒田　誠

**オズウイルス感染症とは****NIID国立感染症研究所**

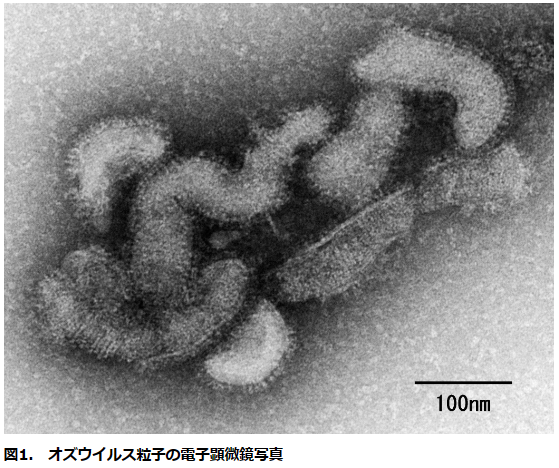
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/12113-ozv.html>

**オズウイルス感染症とは　掲載日：2023年6月23日**

オズウイルス（Oz virus, OZV）は、オルソミクソウイルス科 (Family Orthomyxoviridae) トゴトウイルス属 (Genus Thogotovirus) に分類されるRNAウイルスである。2018年に本邦でタカサゴキララマダニ (Amblyomma testudinarium)より分離同定され、オズウイルスと命名された。これまで国内のヒトにおける血清を用いた抗体検査の結果により、ヒトにおける感染の可能性が示唆されていたものの、世界的にヒトでの発症や死亡事例は確認されていなかった。2023年6月、ヒト感染症例（致死症例）が本邦から世界で初めて報告された（IASR速報）。

**病原体**

OZVはオルソミクソウイルス科トゴトウイルス属に属する、6分節の一本鎖マイナス鎖RNAをゲノムとしてもつエンベロープウイルスで、2013年に愛媛県で採取されたタカサゴキララマダニから、2018年に初めて分離された（Ejiri H, et al., 2018）。本邦以外から同ウイルスが検出されたという報告はない。



**分布**

タカサゴキララマダニは、主として関東以西に広く分布している。野生動物の血清抗体調査によれば、OZVの感染歴があると考えられる野生動物（ニホンザル (Macaca fuscata)、二ホンイノシシ(Sus scrofa leucomystax)、二ホンジカ(Cervus nippon)）が千葉県、岐阜県、三重県、和歌山県、山口県、大分県で確認されている(Tran NTB, et al., 2022)。ヒトでは、2013〜2019年に得られた山口県の狩猟者の血清を用いた抗体検査の結果、24名中2名で抗OZV抗体が陽性だったという報告がある(Tran NTB, et al., 2022)。これらの結果は、OZVが日本の広い地域に分布している可能性を示唆している。

**臨床症状**

OZV感染による症例報告は本邦における1例のみ（IASR速報）であり、OZV感染による臨床症状を特徴づけることはできない。当該症例は、倦怠感、食欲低下、嘔吐、関節痛、39度の発熱を主訴とし、心筋炎で死亡した。死後、検査結果と病理組織所見よりウイルス性心筋炎と判明した。

なお、上記のように、血清抗体調査により過去の感染が示唆された事例の報告があり、感染が必ずしも致死的な経過につながるわけではないと考えられるが、臨床症状の特徴の解明のためにはさらなる症例の情報の集積が必要である。

**感染経路**

OZVはヒトを刺咬するマダニで検出されており、本邦における1例(IASR速報)でも、飽血に近い状態のマダニの咬着が確認されていることから、感染マダニの刺咬により感染する可能性は考えられるが、確たる証拠は得られていない。ヒト感染症例は2023年6月の報告（IASR速報）に限られており、当該症例の感染経路について結論は得られていない。

**病原体診断**

血液等からのウイルスの分離・同定及びRT-PCR法によるウイルス遺伝子の検出により病原体診断が可能である（Ejiri H, et al., 2018）。また、ペア血清による抗体検査も可能である。いずれの検査も国立感染症研究所で実施可能である。

**治療**

現時点では有効な治療薬に関する知見はなく、対症療法のみとなる。

**予防**

感染経路に関する決定的な証拠はないが、マダニに刺されることによる感染の可能性が考えられることから、屋外で肌の露出を少なくしたり忌避剤を使用したりするなどして、マダニに刺されないようにする。ワクチンはない。

**参考文献**

Ejiri H, et al. 2018. Characterization of a Novel Thogotovirus Isolated from Amblyomma Testudinarium Ticks in Ehime, Japan: A Significant Phylogenetic Relationship to Bourbon Virus. Virus Research 249 (April): 57–65.

Tran NTB, et al. 2022. Zoonotic Infection with OZ virus, a Novel Thogotovirus. Emerging Infectious Diseases 28 (2): 436–39.

**オズウイルス感染症に関するQ&A　NIID国立感染症研究所**

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/2629-ozv/cepr/12091-ozvqa.html>

**オズウイルス感染症に関するQ&A　2023年6月23日　国立感染症研究所**

**＜一般の方向け＞**

問1．オズウイルスとはなんですか。感染するとどのような病気になりますか？

答1.　2018年に新たに分離・同定されたウイルスです。感染した場合、どのような症状がでるかについてはまだ詳しいことはわかっていません。研究によると、本ウイルスに過去に感染したことを示す抗体を持っているヒトもいることがわかっているので、感染に気づかないもしくは軽症な場合もあると考えられます。

問2．オズウイルス感染症は世界のどこで発生していますか？

答2.　これまで世界でオズウイルス感染症を発症した報告はなく、本邦で2023年6月に報告された2022年に発症した症例が初めての報告です(IASR速報)。

問3．オズウイルスにはどのようにして感染するのですか？

答3.　オズウイルスは国内のマダニから見つかっているので、ウイルスを保有しているマダニに刺されることにより感染する可能性が考えられますが、感染ルートに関する十分な知見はまだ得られていません。

問4．マダニは、屋内にいるダニとは違うのですか？

答4.　マダニと、食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウヒダニなど、家庭内に生息するダニとでは種類が異なります。マダニ類は、固い外皮に覆われた比較的大型（吸血前3～4mm）のダニで、主に森林や草地等の屋外に生息しており、市街地周辺でも見られます

日本でも全国的に分布しています。

問5．どのようなマダニがオズウイルスを保有しているのですか？

答5.　国内では、これまでタカサゴキララマダニというマダニからウイルスが見つかっています。

問6．オズウイルス感染症にかからないために、どのように予防すればよいですか？

答6.　現時点では、感染経路は不明ですが、ウイルスを持ったマダニに刺されることにより感染する可能性が考えられることから、マダニに刺されないようにすることが重要です。特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては注意してください。オズウイルス感染症だけではなく、国内で毎年多くの報告例がある、つつが虫病や日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）など、ダニが媒介する他の疾患の予防のためにも有効です。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくすることが大事です。DEET（ディート）やイカリジンという成分を含む虫除け剤の中には、皮膚に直接塗布するものや服の上から用いるものがあり、補助的な効果があると言われています。また、屋外活動後はマダニに刺咬されていないか確認して下さい（参考ウェブサイト：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>　）。

吸血中のマダニに気が付いた際は、無理に引き抜こうとせずに、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらってください。また、マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合はすみやかに医療機関で診察を受けて下さい。 その際、マダニに刺されたことを医師に説明して下さい。

問7．国内で患者が報告された地域は特に感染のリスクが高いのですか？

答7.　現時点では、詳細な感染経路は不明ですが、オズウイルスを媒介すると考えられるマダニは主に関東以西の全国に分布しており、今回患者が報告された地域以外のマダニからオズウイルスが検出されたことが報告されています。また、野生動物の血清抗体調査で今回患者が報告された地域以外からオズウイルスの感染歴があると考えられる野生動物が確認されていることから今回患者が報告された地域が他の地域と比較して感染のリスクが高いというわけではありません

問8．動物はマダニに刺されてオズウイルスに感染するのですか？

答8.　一般に、マダニは野外でヒトを含む多くの種類の動物を吸血することが知られています

国内の野生動物（サル、イノシシ、シカ）を調査したところ、オズウイルスへの感染が示唆される動物もいることがわかっています。

**＜医療従事者等の専門家向け＞**

問1．オズウイルスはどのようなウイルスですか？

答1.　オズウイルスは、オルソミクソウイルス科トゴトウイルス属に属する、6分節一本鎖マイナス鎖RNAを有するエンベロープウイルスです。オルソミクソウイルス科のウイルスは酸や熱に弱く、消毒用アルコールなどで急速に失活します。

問2．潜伏期間はどのくらいですか？どのような症状が出ますか？

答2.　ヒトにおける感染症例の報告は1例のみであり、潜伏期間や特徴的な症状はまだわかっていません。症例の詳細はIASRの報告をご覧ください（IASR速報）。

問3．検査所見の特徴はどのようなものですか？

答3.　ヒトにおける感染症例の報告は1例のみであり、一般的なことはまだわかっていません症例の詳細はIASRの報告をご覧ください（IASR速報）。

問4．どのようにして診断すればよいですか？

答4.　感染経路について現時点で確立された知見はありませんが、マダニに刺された後に、原因不明の発熱等体調不良が生じた時に鑑別疾患の一つとして挙げることが考えられます。また、IASRに報告された1例ではウイルス性心筋炎がみられましたが、特徴的な症状や心筋炎の発生頻度などはわかっていません。確定診断には、ウイルス学的検査が必要となります。なお、患者がマダニに刺されたことに気がついていなかったり、刺し口が見つからなかったりする場合も考えられます。

問5．治療方法はありますか？

答5.　現時点では有効な治療薬に関する知見はなく、対症療法のみとなります。

問6．患者検体（サンプル）を取り扱う場合の注意点は何ですか？

答6.　患者の血液や体液にはウイルスが存在する可能性があるため、標準予防策を遵守することが重要です。

問7．検査方法等、技術的な内容の相談窓口を教えてください。

答7.　国立感染症研究所感染病理部 [pathology@nih.go.jp](mailto:pathology@nih.go.jp) にお問い合わせください。

**厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡「オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について（情報提供）」（令和５年６月23日）**

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001112348.pdf>

事務連絡　令 和 ５ 年 ６ 月 2 3 日

都 道 府 県

各 保健所設置 市 衛生主管部（局）御中

特 別 区

厚生労働省健康局結核感染症課

**オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について（情報提供）**

今般、別添１のとおり、2022年初夏に心筋炎で亡くなられた患者について、茨城県衛生研究所と国立感染症研究所における検査の結果、オズウイルス（Oz virus）による心筋炎と診断されたことが報告されました。

オズウイルスは、オルソミクソウイルス科トゴトウイルス属に属するウイルスで、２０１８年に国内のマダニから初めて分離・同定されたウイルスです。これまでヒトを刺咬するマダニで検出されており、感染マダニの刺咬により感染する可能性が考えられますが、感染経路について現時点で確立された知見は得られていません。

つきましては、別添２及び３のとおり本症例に関するQ&Aなど、資料を取りまとめましたので、貴管内医療機関を含む関係者への周知方よろしくお願いします。

なお、本症例に関わらず、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱、つつが虫病等のダニ媒介感染症については、継続して患者の発生が報告されています。

マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になることから、「ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について（協力依頼）」（令和５年５月９日厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）の内容をふまえ、ダニ媒介感染症の予防対策について、貴管内保健所や医療機関等における周知・啓発に、引き続きご協力いただきますようお願いします。

参考資料

別添１：病原微生物検出情報（IASR）速報 初めて診断されたオズウイルス感染症患者

別添２：オズウイルス感染症について

別添３：オズウイルス感染症に関する Q&A

別添４：「ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について（協力依頼）」（令和５年５月９日厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３４７報）　2023/6/27**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33696.html>

　１　自治体の検査結果

岩手県、宮城県、仙台市、山形県、埼玉県、東京都、文京区、杉並区、横浜市、滋賀県、大阪府、大阪市

　 ※ 基準値超過　３件

　　No. 3 宮城県　　コシアブラ　（Cs : 670 Bq / kg）　大崎市

　　No. 4　宮城県　　コシアブラ　（Cs : 640 Bq / kg）　大崎市

　　No. 6　宮城県　　ゼンマイ　　（Cs : 130 Bq / kg）　丸森町

　検査結果（Excel：145 KB）<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Fcontent%2F11135000%2F001113348.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３４６報）　2023/6/20**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33583.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　　※ 基準値超過　２件

　　　 No. １ 千葉県　　 乾燥コウタケ　　 （Cs ： 270 Bq / kg )　鴨川市

　　　 No. ２ 岩手県　　 乾燥コウタケ　　 （Cs ： 180 Bq / kg )　久慈市

　　検査結果（Excel：22 KB）［22KB］別ウィンドウで開く

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Fcontent%2F11135000%2F001106772.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.13 2023（2023.6.21）2023/6/21**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202313m.pdf>

**目次**

**【【世界保健機関（WHO）】**

1. 国際食品安全当局ネットワーク（INFOSAN）2023 年第 1 四半期報告（2023 年 1～3月）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. 冷凍の有機栽培イチゴに関連して複数州にわたり発生している A 型肝炎アウトブレイク（2023 年 6 月 12 日付情報）

2. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Braenderup、*S.* Enteritidis、*S.* Indiana、*S.* Infantis、*S.* Mbandaka、*S*. Typhimurium）感染アウトブレイク（2023 年 6 月 15 日付更新情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. 欧州疾病予防管理センター（ECDC）の迅速なリスク評価法およびリスクコミュニケーションに関する研修をチュニジアで実施

2. トリヒナ症 － 2020 年次疫学報告書

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. 食品安全強化のためドイツチュニジアが協力

**【ProMED-mail】**

1.コレラ、下痢、赤痢最新情報（12）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.13 2023（2023.6.21）2023/6/21**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202313c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【FSA】 小売業者向け通知：竹を使用したプラスチック容器や器具**

英国食品基準庁（FSA）は、麦わらや竹などの植物由来の素材を含むプラスチック容器や器具を販売しないよう事業者に呼び掛けている。現在、それらの植物由来の素材を含む食品接触物質の安全性を評価するための情報を FSA が収集している段階であり、十分な評価を行い、承認されるまでは当該製品を販売することはできない。

**＊ポイント：** 脱プラスチックの推進に伴う問題の一つです。以前に EU の大規模調査のことをご紹介しましたが、その後も関連記事を目にすることがよくあり、欧州では植物由来の素材（特に竹粉末）を混合した食品用のプラスチック製品がかなり問題になっている印象を受けています。プラスチック材への混合によりホルムアルデヒドやメラミンなどの成分が溶出しやすくなることが懸念されているとのことです。

＊参考：食品安全情報（化学物質）No. 25/ 2022（2022. 12. 07）

**【EC】食品接触物質：欧州で数千の違法で有害な製品が遮断及びリコールされた**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202225c.pdf>

**【FDA】 PFAS 活動に関して最新情報を提供する**

米国食品医薬品局（FDA）は、食品に含まれる PFAS（パー及びポリフルオロアルキル化合物）に関する新しい分析結果や分析法の開発状況について最新情報を報告する。トータルダイエットスタディ（TDS）では 186 サンプルを検査して一部のサンプルから PFASが検出されたが、FDA は、検出された濃度での暴露は幼児や一般集団にとって健康上の懸念となる可能性は低いと結論した。分析対象の PFAS は、2019 年は 16 種であったが、段階的に増やして 2023 年には 30 種を分析している。更新された分析法については今年後半に公開する予定である。さらに FDA は、植物による PFAS の取り込みや、その後の分布に関する研究の支援なども行っている。

**＊ポイント：** FDA は 2019 年から TDS の分析対象に PFAS を加えており、今回は2021 年にサンプリング、2022 年に 20 種の PFAS を分析した結果です。以前の TDS で魚介類のサンプルに PFAS を検出したことから、食品の中でも特に魚介類が PFAS に汚染される可能性が高いとして、FDA は TDS の他に魚介類のターゲット調査も実施しています。米国では食品中の PFAS についての基準値は設定していませんが、PFAS が検出された場合には、健康への影響を評価して、もし安全上の懸念が生じた場合には事業者による自主的リコールなどを実施するとしています。

**【FSS】 スラッシュアイス飲料中のグリセロール**

グリセロール（E422）は、液体が凍るのを防ぎ、スラッシュ性（半解けの状態）を維持する機能を持つことから、スラッシュアイス飲料（フローズンドリンク）の製造に使用されている。グリセロールの毒性は低いが、短期間に大量に摂取した場合の幼児への影響が懸念されている。食品基準スコットランド（FSS）は、スラッシュアイスの過剰な摂取により体調を崩した子供 2 名についての報告を受けたことから、現在、業界関係者と協力して業界全体で使用されているグリセロールの量について調査している｡

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.13 2023（2023.6.21）2023/6/21　別添**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202313ca.pdf>

「World Food Safety Day 2023」関連記事

＜参考＞

＊厚生労働省：コーデックス委員会　世界食品安全の日(6 月 7 日)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index.html>

（FAO/WHO 公式パンフレットの日本語版を掲載しています）

＊食品安全委員会：「世界食品安全の日」について

<https://www.fsc.go.jp/sonota/world_food_safety_day.html>

＊農林水産省公式 Facebook

<https://www.facebook.com/maffjapan/posts/pfbid06kaZRSxCMrAxQY7TpdskBDCjo9HeaXqfPXLdH1BhauQ1tmTZ97srsjLw9RvU2UM4l>

農林水産省公式 Twitter

<https://twitter.com/MAFF_JAPAN/status/1665523834047578113?s=20>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第904回）の開催について　2023/6/29**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年7月4日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

（１）令和４年食中毒発生状況の概要について（厚生労働省からの説明）

（２）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・プリオン １案件（厚生労働省からの説明）

　　　　ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓について

（３）評価技術企画ワーキンググループにおける審議結果について

・「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針の一部を改正する件(案)」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（４）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

・飼料添加物「Trichoderma reesei JPTR003株を用いて生産されたムラミダーゼ濃縮・精製物を原体とする飼料添加物」に係る食品健康影響評価について

・農薬及び動物用医薬品「エマメクチン安息香酸塩」に係る食品健康影響評価について

（５）その他

４．動画視聴について

：本会合については、その様子を動画配信するとともに、会場での傍聴も受け付けます。動画の視聴又は会場での傍聴を希望される方は、7月3日（月）12時までに、内閣府共通意見等登録システム(<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1404.html>)にて、申し込みいただきますようお願いいたします。

動画の視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに視聴に必要なURLを、7月4日（火）12時までに御連絡いたします。

なお、会場での傍聴席は限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には原則として先着順とさせていただき、傍聴可能な方には7月3（月）18時までに御登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡いたしますので、受付時間（13：30〜13：50）までに会議室入口で受付をお済ませください。受付時間終了後は入場出来ませんので、ご了承ください。会場で傍聴できない方については、動画視聴に必要なＵＲＬをご送付させていただきます。

また、当日の配布資料につきましては、会議開催前までに食品安全委員会のウェブサイト（<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載予定ですので、必要に応じて参照いただきながら、ご覧ください。

※動画視聴時の録画及び録音、画面撮影はご遠慮ください。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■食品安全委員会の20年を振り返る　第2回　薬剤耐性（AMR）のリスク評価に挑む　2023/6/21**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai/20shunen/02_amr.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和5年5月22日から令和5年6月2日）2023/6/21**

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\_year=2023&from\_month=5&from\_day=20&to=struct&to\_year=2023&to\_month=6&to\_day=2&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2023&from_month=5&from_day=20&to=struct&to_year=2023&to_month=6&to_day=2&max=100%20)

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***ブラジルからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2023/6/28**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230628.html>

　　農林水産省は、6月28日（水曜日）にブラジルのエスピリトサント州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ブラジルのエスピリトサント州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、ブラジル家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和5年6月28日（水曜日）にエスピリトサント州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

　（参考）ブラジルからの生きた家きん、家きん肉等の輸入実績

　　　　　　　　　　 　2020年　　 2021年　 　2022年

生きた家きんのひな（羽） 　　　0 　　　 　 0 　 11,157

（日本の総輸入量） （338,032）（493,651）（308,592）

家きん肉（トン） 　　　 　398,764　　435,032 426,034

（日本の総輸入量）　　 　（1,021,239）（1,093,288）（1,116,751）

家きんの卵（トン）　　　　　 311 　　 984 1,148

（日本の総輸入量） （23,218） （28,539）　（26,925）

出典：財務省「貿易統計」

**これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。**

**動物検疫所：**<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■高病原性鳥インフルエンザの清浄化宣言について　2023/6/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230620.html>

　農林水産省が国際獣疫事務局（OIE）に提出した高病原性鳥インフルエンザの清浄化宣言が、令和5年5月13日（土曜日）を開始日として、OIEのウェブサイトに掲載されましたのでお知らせします。

1.経緯

令和4年10月から令和5年4月まで国内の家きん飼養農場で発生した高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型、H5N2亜型）については、令和5年4月14日（金曜日）までに全ての防疫措置が完了しました。その後、新たな発生が確認されなかったことから、OIEの規定に基づき、高病原性鳥インフルエンザの清浄化宣言を提出していました。今般、当該清浄化宣言が、令和5年5月13日（土曜日）を開始日として、OIEのウェブサイトに掲載されました。

<https://www.woah.org/en/what-we-offer/self-declared-disease-status/>

2.防疫対策強化のお願い

高病原性鳥インフルエンザは世界各地で発生が確認されており、令和4年度シーズンにおいても欧州や北米のほか、南米でも発生が見られるなど、世界的に深刻な状況となっています。家きん飼養農場を含む畜産関係者の皆様方におかれましては、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期の発見・通報のために監視の強化に万全を期していただきますようお願いいたします。

3.その他

既にお知らせのとおり、清浄化に伴い、家きん由来製品の主な輸出国・地域への全国からの輸出が可能となっています。

令和5年5月23日（火曜日）付けプレスリリース「香港向け家きん由来製品の輸出再開について（北海道及び青森県）」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230523.html>

（参考）

「鳥インフルエンザに関する情報」についての詳細はこちらのページを御覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

「国際獣疫事務局（OIE）」についての詳細はこちらのページを御覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/wto-sps/oie.html>

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***「食品表示基準について」及び「食品表示基準Q&A」の一部改正について　2023/6/29**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/#qa>

**■***NEW***「一度に体質を改善し、追加費用は不要」などとダイエット希望者を勧誘し、痩身効果をうたうお茶等を次々販売する事業者に関する注意喚起　2023/6/28**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/033735/>

　「一度に体質を改善し、追加費用は不要」などとダイエット希望者を勧誘し、痩身効果をうたうお茶等を次々販売する事業者に関する注意喚起を行いました。

詳細

令和3年9月以降、SNS等の広告を経由して「永遠にリバウンドしません」、「一度に体質を改善し、追加費用は不要」などのLINEメッセージによる勧誘により、痩身効果をうたうお茶、錠剤等(以下「本件製品」といいます。)を購入したが、実際には、「体質改善には追加料金は一切ありません。しかし、脂肪を溶かすことと体質を改善することは別で、別料金が必要」、「脂肪を溶かして体外に排出すると体重は毎日0.4～0.6キロの速度で低下する」などとして、次々と本件製品を追加購入させられたなどという相談が、各地の消費生活センター等に数多く寄せられています。

消費者庁が調査を行ったところ、LINEのアカウント名として、「ビューティーカイロ●●」「食育健康アドバイザー」、「オンラインダイエット指導‐廣瀬●●」、「体質改善ダイエット‐上嶋●●」、「吉沢●●」及び「佐藤●●」を使用していた事業者が、消費者の利益を不当に害するおそれのある行為(不実告知及び断定的判断の提供)を行っていたことを確認したため、消費者安全法(平成21年法律第50号)第38条第1項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様に注意を呼びかけます。

また、この情報を都道府県及び市町村に提供し、周知します。

公表資料

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consume_policy_cms103_230628_01.pdf>

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consume_policy_cms103_230628_02.pdf>

**■***NEW***通信販売業者【株式会社LIT】に対する行政処分について　2023/6/28**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/033813/>

　　消費者庁が特定商取引法に基づく行政処分を実施しましたので公表します。

あわせて、チラシ「通信販売における"最終確認画面"について」を公表します。

詳細

消費者庁は、ヘアケア用品及びサプリメントを販売する通信販売業者である株式会社LIT(本店所在地:東京都目黒区)(以下「LIT」といいます。)(注)に対し、令和5年6月27日、特定商取引法第15条第1項の規定に基づき、令和5年6月28日から令和5年12月27日までの6か月間通信販売に関する業務の一部(広告、申込受付及び契約締結)を停止するよう命じました。

(注)同名の別会社と間違えないよう会社所在地なども確認してください。

あわせて、消費者庁は、LITに対し、特定商取引法第14条第1項の規定に基づき、再発防止策を講ずるとともに、コンプライアンス体制を構築することなどを指示しました。

また、消費者庁は、LITの代表取締役である中村智紀(なかむら とものり)に対し、特定商取引法第15条の2第1項の規定に基づき、令和5年6月28日から令和5年12月27日での6か月間、LITに対して前記業務停止命令により業務の停止を命ずる範囲の業務を新たに開始すること(当該業務を営む法人の当該業務を担当する役員となることを含みます。)の禁止を、同条第2項の規定に基づき、同期間、特定関係法人である株式会社LIT INNOVATIONにおいて行っている前記業務禁止命令の範囲と同一の業務の停止を、それぞれ命じました。

　公表資料

* [通信販売業者【株式会社LIT】に対する行政処分について[PDF:415.5 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_transaction_cms203_230628_02.pdf)
* [チラシ「通信販売における"最終確認画面"について」[PDF:699.3 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_transaction_cms203_230628_03.pdf)

**■***NEW***株式会社ドミノ・ピザジャパンに対する景品表示法に基づく措置命令について　2023/6/27**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/033782/>

　公表資料

* [株式会社ドミノ・ピザジャパンに対する景品表示法に基づく措置命令について[PDF:1.2 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_01.pdf)
* [別紙1及び別紙2[PDF:4.9 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_02.pdf)
* [別紙3及び別紙4[PDF:5.3 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_03.pdf)
* [別紙5及び別紙6[PDF:5.0 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_04.pdf)
* [別紙7ないし別紙9[PDF:4.7 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_05.pdf)
* [別紙10ないし別紙12[PDF:5.6 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_06.pdf)
* [別紙13及び別紙14[PDF:4.3 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_07.pdf)
* [別紙15ないし別紙17[PDF:5.7 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_08.pdf)
* [別紙18及び別紙19[PDF:3.8 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_09.pdf)
* [別紙20及び別紙21[PDF:3.5 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_10.pdf)
* [参考1及び参考2[PDF:220.8 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_11.pdf)
* [別添[PDF:1.7 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_%20230627_12.pdf)

**■***NEW***新井消費者庁長官記者会見要旨　2023/6/23**

<https://www.caa.go.jp/notice/statement/arai/033803.html>

　質疑応答

　問

フリーの木村です。

別件で申し訳ないんですけれども、昨日の食物アレルギー表示のアドバイザー会議なんですけれども、特定原材料に準ずるものの考え方、案が了承されたということで、それに該当するものとして追加するのはマカダミアナッツで、削除するのはまつたけという案が消費者庁のほうから示されたんですけれども、これは追加したり削除をするという方向でこれから進めると理解でよろしいでしょうか。

　答

食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議を開催いたしまして、3年に1回行っております全国実態調査の結果を踏まえて、どうやっていくかということでご議論いただいたところでございます。今回の会議では、本年3月のくるみの特定原材料への追加、それから本年3月に作成した啓発資料による外食・中食における情報提供、それからコーデックスにおけるアレルゲン表示の検討状況について報告し意見交換を行うとともに、特定原材料に準ずるものに係る対象品目の選定に関する考え方につきまして専門家からご議論いただいたということでございます。今回のように特定原材料に準ずるものに係る対象品目の追加・削除の基本的な考え方を整理いたしますのは、制度開始以来、今回初めてということでございます。このアレルギー実態調査は、全国のアレルギーの専門家の医師約1000名の協力で主に3年に1回行われておりますが、コロナ禍におきましては、いわゆる臨床があったアレルギー物質、今回の調査で124にわたる品目の調査をしているということでございます。このような状況の中、どれを推奨表示していくかということはやはり専門家の方々の知見に基づいて考えていくというのが重要だと思っておりまして、細かなお話をさせていただきますと、追加対象品目の候補の考慮事項としては、直近2回の全国実態調査の結果において、即時型症例で上位20品目に入っているもの、直近2回の全国実態調査の結果において、ショック症例数で上位10品目に入っており、重篤度等の観点から別途検討が必要であるもの、のいずれかに該当する品目とすること、それから、削除対象品目の候補としては、直近4回の全国実態調査の結果において、即時型症例数で上位20品目に入っていないもの、それから直近4回の全国実態調査の調査結果において、ショック症例数が極めて少数であること、のいずれにも該当する品目とすること、ということでご議論いただきまして、この時に、先生方から、追加する際の考慮事項には、流通実態なども加味してはどうかというご助言をいただいたところでございます。なお、対象品目数については現行28品目を目安とするということがまとめられております。たくさんにするということではなくて、できるだけ見やすい形で提供するということでございます。このような考え方に基づきまして、特定原材料に準ずるものとしては、まつたけについては削除すること、それから、マカダミアナッツについては実態調査の結果を踏まえ追加の候補とすることということですので、マカダミアナッツについては、実態調査をするということでございます。これを踏まえて年度内にどういう対応をするかということを検討するということでございますが、アレルギー問題はやはりお医者さん方、科学的な知見に基づいてやっていくということが重要だと思っておりますので、この今回の結果を踏まえて対応していくということになると思います。

　問

検討は年度内に終わらせて、実際に制度を追加したり、削除するのは来年度以降の話というそんな流れでしょうか。

　答

具体的には消費者庁の次長通知を改正するということになります。それから然るべき皆様にやっていただくまでにどのような期間を取るのかということは、その時にまた判断をしたいと思います。

　問

日本消費経済新聞の相川です。

食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議について質問させてください。YouTubeで公開され義務表示、推奨表示とする考え方が示された点は大変高く評価しています。本当に早く取り組んでいただきたかったと思っていることがようやく実現してありがたいと思っています。この中で、今後流通量を確認することを委員から求められたということなのですが、マカダミアナッツとかペカンナッツ、ピスタチオ、くるみの流通量について知見がありましたらお教えいただけないでしょうか。

　答

今回の整理の基準というのは、一番前提としてはこのアレルギーの実態調査に基づいているというのが前提です。その上で先生方がおっしゃったのは、社会的なインパクトということで流通量を考えてというお話があったと思っておりますので、特定の品目について流通量が非常に高いから、さっき申し上げた調査の百数十品目の中で上位にあるということではないと理解しております。今それぞれお話がありましたナッツ等の流通量については、後で事務方からお答えさせていただければと思います。

　問

ピスタチオ、マカダミアナッツを追加して、まつたけを削除してくださるということなんですが、ピスタチオは確かに13位ということで、アナフィラキシーショックの数が新しく出てきたというところはあるんですけれども、発症数に占めるショック症状の発生頻度というのがどの食物よりも高いと、アーモンド、小麦、カシューナッツの上に来ていて、さらにカシューナッツと交差反応性があると、ピスタチオクリームなど最近需要が高くて、ピスタチオのクリスマスケーキなんて予約しないとなかなか買えないぐらいの状況になっていて、少し、推奨表示として追加する選択肢はないのかなというのを、アドバイザー会議を伺っていてちょっと疑問に思ったものですから、その辺のご見解を教えていただけたらと思います。

　答

今回のアドバイザー会議も、今申し上げたそれぞれ調査の基準に基づいて判断をしているということであります。今回考慮事項として流通量等もというお話があったのも、まさにご指摘の視点も踏まえてということだと考えます。当然ながらピスタチオが入ったものについては、包装用食品であればピスタチオと表示をしておりますし、例えばケーキ屋さんでこの緑は何ですかということで聞いていただければケーキ屋さんはお答えするということです。いずれにせよ、この問題はアドバイザー会議の専門家の判断を尊重していきたいと考えています。

**■健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令の一部改正案に関する意見募集について　2023年06月22日　食品表示企画課**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/033733/>

　消費者庁では、健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令の一部改正案を作成いたしました(本案の詳細は別添資料を御参照ください。)。つきましては、下記のとおり、広く国民の皆様の御意見を募集いたします。お寄せいただいた御意見につきましては、内容を検討の上、本案作成の参考とさせていただきます。

詳細

1.意見募集の対象

健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令の一部改正案

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=235080070&Mode=0>

2.一部改正案の概要

(1)登録試験機関に対する外部精度管理調査の定期的な受検の義務付けについて、「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」(令和4年6月デジタル臨時行政調査会公表)における見直しを踏まえ、登録試験機関に対する外部精度管理調査の定期的な受検を義務付ける規定を撤廃する改正を行う。

(2)健康増進法関連手続の手数料納付方法について、収入印紙により手数料を納付することを規定している。「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」(平成14年法律第151号。以下、「デジタル手続法」という。)では、電子情報処理組織を使用する方法により申請を行った場合、当該申請により得られた納付情報により手数料を納付できる旨が規定されていることから、「デジタル手続法」の規定に基づき申請を行った場合の手数料納付方法について規定を新設する。

3.意見募集期間　令和5年6月22日(木)から同年7月22日(土)まで(郵送の場合は同日必着)

4.意見の提出方法

以下の事項を記載し、次に掲げるいずれかの方法により提出してください。なお、電話での受付はできませんので御了承ください。

【1】氏名(法人その他の団体にあっては名称/部署名等)

【2】職業(法人その他の団体にあっては業種)[任意]

【3】住所

【4】電話番号

【5】電子メールアドレス(お持ちの場合)

【6】御意見及びその理由(表題及び御意見を御記入ください。)

\*御意見が600字を超える場合、その内容の要旨を添付してくださいますようお願いいたします。

\*郵送で御提出の場合、別途様式を用意しておりますが、【1】～【6】の項目が記載されていれば、他の様式を用いての御提出も可能です。

(1)電子メールの場合

E-mail:　[i.shokuhin6@caa.go.jp](mailto:i.shokuhin6@caa.go.jp)　宛て

\*電子メール件名を「健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令の一部改正案についてについて」としてください。

(2)郵送の場合

〒100-8958

東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館6階

消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て

\*封筒表面に「健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令の一部改正案について」と朱書きしてください。

5.注意事項

お寄せいただいた御意見に対する個別の回答は致しかねますので、その旨御了承願います。

御意見については、提出者の氏名や住所等、個人を特定できる情報を除き、そのまま公表させていただく場合もありますので、その旨御了承願います。

御記入いただいた氏名、住所、電話番号及び電子メールアドレスは、御提出いただいた御意見の内容に不明な点があった場合等の連絡のために利用します。

電子メールでの御意見は、テキスト形式の電子メールによる御意見だけを受理します。セキュリティ上、添付ファイルやURLへのリンクにより提出された御意見は受理しかねますので、その旨御了承願います。

公表資料

健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令の一部改正案に関する意見募集[PDF:234.3 KB]

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/food_labeling_cms201_230622_01.pdf>

**■特殊詐欺等の消費者被害における心理・行動特性に関する研究**

**「特殊詐欺等の消費者被害における心理・行動特性に関する研究」プロジェクトにおけるリサーチ・ディスカッション・ペーパーの公表について　2023/6/21**

<https://www.caa.go.jp/policies/future/icprc/research_007/#r002>

概要版[PDF:230KB]

<https://www.caa.go.jp/policies/future/icprc/research_007/assets/future_caa_cms201_230621_01.pdf>

全体版[PDF:2.0MB]

<https://www.caa.go.jp/policies/future/icprc/research_007/assets/future_caa_cms201_230621_02.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★小田急商事（Odakyu OX万福寺店）「江戸一くるみ小女子、江戸一わかさぎやわらか煮」 - 返金／回収　本来「10℃以下」にて販売するところ「常温」で販売　2023/6/29**

**★リョーユーパン「ローソン：ティラミス仕立てのもっちりとしたシュー」 - 回収　栄養成分の誤表示　2023/6/29**

**★神戸洋行「おいしさ厳選ネーブルオレンジ」 - 返金／回収　産地の誤表示、防ばい剤の表示欠落　2023/6/29**

**★いちふく「冷凍キンパ」 - 返金／回収　賞味期限が切れた原材料（たくあん漬け）が一部含まれていたため　2023/6/28**

**★氏郷庵かどや「でっちようかん」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2060.6.30、正：2023.6.30）　2023/6/28**

**★ヤマナカ（汐田フランテ館）「ヤンニョムチキン」 - 返金／回収　アレルゲン「卵・乳成分」の表示欠落　2023/6/27**

**★ドトールコーヒー「ドトールコーヒー天然水」 - 返金／回収　真菌類（詳細は調査中）を検出したため　2023/6/28**

**★プレシア「生チョコトリュフ クリーム入り」 - 返金／回収　シリコン素材のヘラの破片が混入　2023/6/26**

**★三菱食品「果実酒：トリヴェント レゼルバ マルベック、ほか4商品」 - 返金／回収　食品添加物「安定剤（アラビアガム）」の表示欠落　2023/6/26**

**★Meフードシステム「鶏レバーハム」 - 返金／回収　サルモネラ菌陽性　2023/6/26**

**★アクシアルリテイリング（原信古正寺店）「牛肉、豚肉」 - 返金／回収　金属片の混入の可能性あり　2023/6/26**

**★ロッテ「レディーボーデン クッキークランチチョコレートバー」 - 返金／回収　アレルゲン「アーモンド」の表示欠落　2023/6/26**

**★都光「アンチョビ フィレ缶」 - 返金／回収　ヒスタミンの高濃度検出　2023/6/26**

**★ジョイマート（千葉白井店）「たらこ、辛子明太子」 - 返金／回収　賞味期限・保存温度の誤表示（誤：23.7.18、-5℃以下、正：23.6.24、10℃以下）　2023/6/23**

**★ありた「ありたどり肩肉の照焼きたれ」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、鶏肉、大豆、もも、りんご」の表示欠落、添加物表示の一部欠落　2023/6/22**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■：行政発表が見つからなかったもの**

**★細菌性食中毒★**

**■市立札幌病院で患者らが腹痛訴え　“１００度で６時間に耐える”ウエルシュ菌による食中毒と断定　札幌市　6/29(木) 15:46配信　HTB北海道ニュース　北海道札幌市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a2ee72245dcc8782316641e8e0ff87abc099a9dc>

**入院患者ら３７人が食中毒疑い　下痢症状訴え　保健所が立ち入り調査　市立札幌病院**

**6/21(水) 17:43配信　STVニュース北海道****北海道札幌市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3e13998f389cb41b35719e00d60cdeb51231a0df>

**市立札幌病院で食中毒か　３７人が体調不良訴え　重症者なし　１９日昼の病院食が原因か**

**6/21(水) 17:15配信　HTB北海道ニュース****北海道札幌市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d2b7b469f118609e05cc18479d55cbf7c70ac44e>

**食品衛生法違反者の公表　2023/6/29　北海道札幌市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/kohyo/info.html>

　公表年月日　令和5年6月29日

発生年月日　令和5年6月19日

患者数　44名(男性20名、女性24名)

主な症状　下痢、腹痛 等

病因物質　ウエルシュ菌

業種等　飲食店営業

施設名称及び所在地　市立札幌病院(札幌市)

主な適用条項　食品衛生法第6条(第3号該当)

（6月19日(月曜日)に原因施設が提供した昼食による食中毒の発生)

**■発症者から「カンピロバクター・ジェジュニ」検出 松山市内の飲食店で食中毒**

**2023年6月29日(木) 14:58　　itvあいテレビ　愛媛県松山市**

**カンピロバクター**

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/itv/570279?display=1>

**食中毒が発生しました　2023/6/29　愛媛県松山市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/hodo/202306/shokuchudoku1.html>

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/hodo/202306/shokuchudoku1.files/230629menu.pdf>

　概要

　　令和5年6月19日（月曜日）16時20分頃、医療機関から「本日、受診した患者2名を診察し、6月16日(金曜日)の夜に『にわ・とりのすけ二番町本店』で喫食後、発熱や下痢などの症状がある。」と連絡がありました。

　　市保健所が患者2名に確認し、同一グループと分かりました。発症グループを含め施設の利用者と施設を調査し、3グループ4名に同様の症状を確認しました。

　　発症者全員の共通行動と共通食が6月16日（金曜日）にこの施設で提供された食品しかないこと、発症者の便からカンピロバクター・ジェジュニが検出されたこと、発症者の症状、発症時間、喫食状況など疫学的調査の結果から、「にわ・とりのすけ二番町本店」が6月16日（金曜日）に提供した食事が原因の食中毒と断定しました。

　　このため、食品衛生法に基づき、同施設を6月29日（木曜日）から6月30日（金曜日）までの2日間の営業停止処分とし、食品の衛生的取り扱いを徹底するよう文書で指導しました。

　　発症者はおおむね回復しています。

発生状況

喫食日時：令和5年6月16日（金曜日）

喫食者数：20グループ73名

発生日時：令和5年6月18日（日曜日）19時～令和5年6月19日（月曜日）10時

発症者数：3グループ4名（男性4名（17～28歳））

受診者数：3名（男性3名（17～28歳））、市内2医療機関

主な症状：発熱、腹痛、下痢など

原因施設

屋　号：にわ・とりのすけ二番町本店

業　種：飲食店営業

所在地：松山市

原因食品　令和5年6月16日（金曜日）夜に提供された食事

病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

行政処分

食品衛生法に基づき、同施設を令和5年6月29日（木曜日）から6月30日（金曜日）まで2日間の営業停止処分

　メニュー（飲み放題・食べ放題）

焼鳥盛り合わせ（きも（タレ）（塩）、ズリ、もも（タレ）（塩）、つくね（タレ）（塩）など）なんこつのから揚げ　鶏の炭焼き　枝豆　たこのから揚げ　サラダ　ポテトフライ　手羽先　ごはん　明太ごはん　ホルモン丼　ソフトドリンク（ウーロン茶など）　ソフトクリーム　ビールなど

**■営業施設に対する行政処分　2023/6/26　台東区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.taito.lg.jp/kenkohukusi/kenkokikikanrieisei/food/syokuhineisei/ihansha.html>

　公表年月日　令和5年6月26日

施設の名称　たなぼた

施設所在地　東京都台東区

業種等　飲食店営業

不利益処分等を行った理由 食中毒

（食品衛生法第6条第3号違反により、第60条を適用）

不利益処分等の内容　令和5年6月26日から6日間の営業停止命令

原因食品　6月9日（金曜日）に「たなぼた」で提供された食事

病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

患者数 1グループ　3名

備考

当該施設は、令和5年6月25日（日曜日)の1日間、自主的に休業し危害の拡大防止を図った。

**■善通寺市の居酒屋で食中毒 ３日間の営業停止処分**

**06月26日　19時10分　香川 NEWS WEB****香川県善通寺市**

**カンピロバクター**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/takamatsu/20230626/8030016161.html>

**食中毒が発生　2023/6/26　香川県善通寺市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/eisei/shokuhin/syokuanzen/syokucyudoku0108.html>

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/37341/050626syokutyudoku.pdf>

　概要

6月21日水曜日午後0時30分頃、善通寺市在住の女性から「善通寺市内の飲食店で職場の同僚と食事をした後、下痢、発熱等を発症した。」旨の連絡が中讃保健所にあった。

中讃保健所が調査したところ、当該グループは、6月15日木曜日夜に、善通寺市内の飲食店「酒肴屋にこいち」を2名で利用しており、2名ともが下痢、発熱、腹痛、頭痛等を呈していることが判明した。

これらの患者の共通食は、当該施設の食事に限られていること、患者の便からカンピロバクターが検出されたこと、患者の症状及び潜伏期間がカンピロバクターによる食中毒と一致していること並びに患者を診察した医師から「食中毒患者等届出票」が本日提出されたことから、中讃保健所は、当該施設を原因とする食中毒と断定し、飲食店営業を停止する処分を行った。

なお、患者は全員快方に向かっている

　２ 摂食者数 ２名（女性２名）

３ 患 者 数 ２名（女性２名。２名とも医療機関を受診。入院なし。）

４ 原因施設

所在地 善通寺市

施 設 酒肴屋にこいち

５ 症 状 下痢、発熱、腹痛、頭痛等

６ 検 査 検査中（検査機関：香川県環境保健研究センター、高松市保健所）

患者便：１検体、従業員便：２検体、使用水：１検体、

調理器具等ふきとり：10 検体、食品：５検体

７ 原因食品 調査中

６月 15 日に提供された食事：鳥刺盛り合わせ（ささみ、ハツ、キモ及びズリ）、瀬戸赤鶏のたたきポン酢、焼き鳥、チキン南蛮タルタルソース等

８ 病因物質 カンピロバクター

９ 行政処分 （処分庁 中讃保健所）

令和５年６月 26 日（月）から令和５年６月 28 日（水）まで、３日間の飲食店営業の停止

10 その他参考事項

令和５年の食中毒発生状況(今回を除く) ３件 49 名(うち、死者０名、高松市は１件７名)

令和４年の食中毒発生状況 ５件 53 名(うち、死者０名、高松市は１件２名）

**■食中毒の発生について　2023年06月23日　記者発表資料**

**（県政・厚木記者クラブ同時発表）　神奈川県厚木市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/prs/r3168059.html>

6月19日(月曜日)、厚木市内の医療機関から「6月14日(水曜日)に厚木市内の飲食店で食事し、下痢、腹痛等の症状を呈した患者を診察した。また、一緒に食事をした人も同様の症状を呈していると聞いた。」旨の連絡が厚木保健福祉事務所にありました。

当保健福祉事務所で調査を行ったところ、食中毒様症状を呈している人の共通の食事がこの飲食店が提供した食事だけであること、症状が共通していること、患者の便からカンピロバクターが検出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、本日、この飲食店が提供した食事を原因とする食中毒と決定しました。

1　摂食者数　5名(男性：5名)(調査中)

2　患者数　5名(男性：5名)(調査中)

3　入院者数　0名(調査中)

4　初発日時　6月16日(金曜日)　23時40分頃(調査中)

5　主な症状　下痢、腹痛など

6　原因施設

名　称　焼き鳥本舗　祭

業　種　飲食店営業

所在地　厚木市

7　原因食品　調査中

6月14日(水曜日)に提供された主なメニュー

白レバー、牛筋煮込み、鶏の唐揚げ、焼き鳥(鳥モモ、鳥皮、砂肝、ぼんじり)など

8　病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

9　措置　原因施設に対して、6月23日(金曜日)から営業禁止

6月27日(火曜日)営業禁止解除

本件については、健康医療局生活衛生部生活衛生課の内規に基づき、修正している箇所がありますので、記者発表時の内容をお知りになりたい方は、問合せ先までご連絡ください。

**■食中毒の発生について（令和５年６月 23 日（金）午後２時 00 分現在）**

**博多区保健福祉センター衛生課食品係　福岡県福岡市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/2785/1/230623_shokuchudokunohasseinituite.pdf?20230623145230>

１ 探知

令和５年６月 21 日（水）午後３時 30 分頃、博多区の医療機関から博多区保健福祉センター（博多保健所）に「腹痛、下痢、発熱等の食中毒様症状を呈した複数の患者を診察し、検便を実施したところ、カンピロバクターが検出された。」との届出があった。

２ 概要

令和５年６月８日（木）午後６時頃から博多区内の飲食店において、職場のグループ４名で居酒屋メニュー（串物（鶏レバー）を含む）を喫食したところ２名が腹痛、下痢、発熱等の症状を呈した。

調査の結果、博多保健所は、以下の施設が提供した食事を原因とするカンピロバクター食中毒と断定し、２日間の営業停止処分とした。

３ 症状　腹痛、下痢、発熱等

４ 摂食者数　４名

５ 有症者数　20 代（男性２名）

※有症者２名とも医療機関を受診（入院者なし）。

※重症者はおらず、全員快方に向かっている。

６ 検査（医療機関で実施、福岡市保健環境研究所で実施中）

有症者便 ：２検体・・・２検体からカンピロバクター検出

７ 原因施設

（１）営業所所在地：福岡市

（３）屋 号：元祖竹炭やき鳥はかた風土（がんそたけすみやきとりはかたふうど）

（４）業 種：飲食店営業

８ 原因食品　当該施設が６月８日（木）に提供した食事

食事の内容：お通し（豆腐）、焼き飯、から揚げ（大根、ごぼう）、チキン南蛮、鉄板焼き（豚足、玉子）、カルビ味チキン、串物（はつ、ずり、もも、せせり、つくね、皮タレ、鶏レバー、ももチーズ、豚バラ、おくら）、ウニ・いくら・キャビアの赤身ユッケ（牛肉）、餃子、エビフライ、デザート（アイスクリーム、生チョコ）、飲み物

９ 対象施設に対する指導事項

（１）食肉は十分加熱して提供すること。

（２）食器・調理器具類の二次汚染を防止するため、洗浄・消毒を徹底すること。

（３）石鹸、アルコール等を用いた衛生的な手洗いを徹底すること。

10 措置処分

博多保健所は、以下の理由により当該施設が提供した食事が原因のカンピロバクターによる食中毒と断定し、令和５年６月 23 日（金）午後３時から６月 25 日（日）午後３時までの２日間の営業停止処分とした。

（１）有症者２名の共通食は６月８日（木）に当該施設で提供された食事のみであること。

（２）有症者２名のうち２名の便からカンピロバクターが検出されたこと。

（３）疫学調査の結果、有症者の症状及び潜伏期間がカンピロバクターによる食中毒と一致し

ていること。

（４）有症者を診察した医師から食中毒患者届出票の提出があったこと。

〈参考〉福岡市における令和４年及び令和５年食中毒発生状況



**■岡山市の焼肉店でＯ１５７食中毒…３人から検出　市が食中毒と断定し営業停止処分【岡山】**

**6/29(木) 16:00配信　OHK岡山放送　岡山県岡山市**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3336dc62bf3a543c846372865cd4621b8eaa4a62>

**「7人が下痢、腹痛などの症状」岡山市内の焼き肉店でO157食中毒　3日間の営業停止【岡山】　6/29(木) 15:59配信　RSK山陽放送****岡山県岡山市**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3cd6240628406d116ffd190ec8a1f7012d2d8204>

**食中毒事件の発生について　2023/6/29　岡山県岡山市**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000050/50780/20230629_shokuchudoku.pdf>

　概 要

令和５年６月２６日（月）及び２７日（火）に市内医療機関から当市保健所に３件の腸管出血性大腸菌感染症発生届が提出されました。

同保健所で調査したところ、当該患者３名を含むそれぞれ３グループ１０名が令和５年６月１６日（金）に市内の同じ飲食店を利用しており、うち７名が腹痛、下痢等の症状を呈していることが判明しました。

患者に共通する食事が当該飲食店が提供した食事に限られていること、患者を診察した医師から食中毒患者等届出票が提出されたことから、当該飲食店が提供した食事を原因とする食中毒事件と断定しました。

　件 名 食中毒事件の発生について

事件の 概 要

令和５年６月２６日（月）及び２７日（火）に市内医療機関から当市保健所に３件の腸管出血性大腸菌感染症発生届が提出されました。

同保健所で調査したところ、当該患者３名を含むそれぞれ３グループ１０名が令和５年６月１６日（金）に市内の同じ飲食店を利用しており、うち７名が腹痛、下痢等の症状を呈していることが判明しました。

患者に共通する食事が当該飲食店が提供した食事に限られていること、患者を診察した医師から食中毒患者等届出票が提出されたことから、当該飲食店が提供した食事を原因とする食中毒事件と断定しました。

調 査 者 数 １０名

患 者 数

　７名※ 【内訳】男（２０歳代 ２名、３０歳代 ２名）女（２０歳代 １名、３０歳代 ２名）

　うち入院者３名（２名入院中、１名退院）

　※令和５年６月２７日（火）及び２８日（水）の広報連絡にて公表した腸管出血性大腸菌感染症患者３名を含む。

原因（と推定される）食事の調製者

所 在 地 ：岡山市

屋 号 ：焼肉玉貴

営業の種類 ：飲食店営業

献 立　ハラミ、タン、ロース、カルビ、ホルモンなど

検 査 物 等

施設内ふきとり： １０検体 検査場所：岡山市保健所

患 者 便 ： ２検体※ 検査場所：岡山市保健所

※腸管出血性大腸菌感染症発生届が提出された患者を除く。

原 因 食 品 調査中

病 因 物 質 腸管出血性大腸菌Ｏ１５７

行 政 処 分　営業停止処分

（令和５年６月２９日（木）から令和５年７月１日（土）までの３日間）

参 考 事 項

１．令和４年の岡山市内での食中毒発生状況

１件 ７５名（３月：ノロウイルス）

２．令和５年の岡山市内での食中毒発生状況（今回の事件を含む）

２件 ２１名（３月：ノロウイルス）

市民のみなさまへのお願い

●６月９日（金）から６月２８日（水）までの期間に当該飲食店を利用して腹痛、下痢発熱等の症状があった方は、医療機関での受診をおすすめします。

　　その際は、上記の飲食店を利用した旨をお伝えください。

●６月２３日（金）に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」が発令されています。

　　引き続き、手洗いの励行（調理前、食事前、用便後）、十分な加熱（７５℃で1分間以上）の徹底をお願いします

**■次のとおり食中毒（疑い）が発生したので発表します。　2023年6月27日 18時20分**

**福岡県飯塚市**

**腸管出血性大腸菌**

<https://news.google.com/articles/CBMiRmh0dHBzOi8vd3d3LnByZWYuZnVrdW9rYS5sZy5qcC9wcmVzcy1yZWxlYXNlL3N5b2t1Y2h1ZG9rdTIwMjMwNjI3Lmh0bWzSAQA?hl=ja&gl=JP&ceid=JP%3Aja>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/197373.pdf>

　１ 事件の探知

　　令和５年６月２１日（水）に飯塚市の医療機関から嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所に、６月２２日（木）に北九州市の医療機関から北九州市保健所に、腸管出血性大腸菌感染症発生の届出がそれぞれ１名、合計２名分あり、いずれも遠賀郡内の同一飲食店の利用歴があることが判明した。

２ 概要

嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所及び北九州市保健所が調査したところ、２名の患者は６月１０日（土）に遠賀郡内の飲食店をそれぞれ別グループで利用しており、２グループ６名（内訳 グループ①：１名、グループ②：５名）のうち３名が下痢、腹痛、血便等の症状を呈していることが判明した。

現在、宗像・遠賀保健福祉環境事務所等において、食中毒及び感染症の両面から調査を進めている。

３ 発生日時　調査中　判明分：令和５年６月１３日（火）

４ 摂食者数　調査中　判明分：６名

５ 症状　調査中　判明分：下痢、腹痛、血便等

６ 有症者数　調査中　判明分：３名

３名全員が医療機関を受診したが、重篤な症状を呈した者はいない。テーブル

自動的に生成された説明

　７ 原因施設、原因食品、原因物質　調査中

８ 検査

福岡県保健環境研究所及び北九州市保健環境研究所で有症者又は従事者の便等を検査予定

９ その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（６月２７日現在。調査中の事件を除く）テーブル

自動的に生成された説明

**■施設に対する行政処分等　2023/6/17　大阪府大阪市**

**腸管出血性大腸菌**

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000527025.html>

　公表年月日：令和5年6月17日

施設名称　ハッシュタグ

施設所在地　大阪市

行政処分等の理由　食品衛生法第6条第3号違反（食中毒の発生）

行政処分等の内容　営業停止1日間

備考

【病因物質】腸管出血性大腸菌

【原因食品】オーダーバイキング料理（詳細について調査中）

【有症者】3名

**★ウイルスによる食中毒★**

**■**

**★寄生虫による食中毒★**

**■不利益処分等のお知らせ　2023/6/28　杉並区**

**アニサキス**

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/022/061/r50627kouhyou.pdf>

テーブル

中程度の精度で自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

テキスト, 手紙

自動的に生成された説明

**■深夜に腹痛、じんましん…アジやイワシ食べた男性が食中毒　アニサキス摘出　越谷の寿司店を営業停止処分　6/24(土) 8:13配信　埼玉新聞****埼玉県越谷市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/902a1a2b16169e731eb0bd3ca119eb5f45abb440>

**食中毒を発生させた施設の行政処分について　2023/6/23　埼玉県越谷市**

**アニサキス**

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi_shisei/fukushi/hokenjo/shokuhin/files/20230623-2.pdf>

　１ 食中毒の概要

（１）探 知

令和5年6月21日（水）午後5時ごろ、「越谷市内の飲食店を利用して腹痛等の症状を呈し、医療機関を受診したところ、内視鏡でアニサキスが摘出された』旨の連絡があり、調査を開始した。

（２）喫食 日時：６月２０日（火）午後８時頃

（３）発症 日時：６月２１日（水）午前０時頃

（４）摂食 者数：２名

（５）患 者 数：１名（３０代、男性）

※病院を受診したが、入院はしていない。患者は快方に向かっている。

（６）主な 症状：腹痛、蕁麻疹

（７）喫食メニュー：寿司（生アジ、生イワシ、金目鯛など）他

（８）原因 施設：

ア 名 称： 沖寿司越谷店

　　イ 所 在 地：越谷市

　　エ 業 種：飲食店営業

　　オ 病因物質：アニサキス

２ 原因施設として断定した理由

（１）患者から摘出された虫体がアニサキスと確定されたこと。

（２）アニサキスは生の魚介類を食べることにより感染するものであり、潜伏期間を考慮すると、患者が生で食べた魚介類は、当該施設で購入した食品のみであること。

（３）患者の症状及び潜伏期間がアニサキスによるものと一致したこと。

（４）患者を診察した医師から食中毒の届出があったこと。

３ 行政処分の内容　食品衛生法第６条第３号違反　同法第６０条第１項に基づき営業停止

処 分 年 月 日：令和５年６月２３日（金）

営業停止１日間：令和５年６月２３日（金）

飲食店営業の一部停止

令和５年６月２３日（停止を命令した営業の内容：－２０℃以下で２４時間以上冷凍してい　ない生食用鮮魚介類の調理、提供）

４ 指導内容

越谷市保健所では、営業停止期間中に食中毒の再発防止を目的として、営業者、調理従事者に対する衛生教育等を行う。

**■福井のすし店でブリやシマアジの刺し身食べアニサキス食中毒　食事から10時間半後に腹痛**

**2023年6月23日 午前6時20分　福井新聞オンライン　福井県福井市**

**アニサキス**

<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1812116>

**福井市内のすし店で食中毒　胃からアニサキス（2023年6月22日 午後4時48分）**

**福井新聞****福井県福井市**

**アニサキス**

<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1812083>

**アニサキス（寄生虫）による食中毒が発生しました　2023/6/22　福井県福井市**

**アニサキス**

<https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/eisei/syokuhin/p020749_d/fil/1.pdf>

　　本日、福井市保健所は、福井市内の飲食店で提供した食事を原因とする、アニサキス食中毒が発生したと断定しました。症状を呈したのは、６月２０日（火）１８時頃に当該飲食店で「寿司（マグロ、タチウオほか）、刺身（ブリ、シマアジほか）」を喫食した越前町在住の男性１名で、鯖江市内の医療機関を受診し症状は回復に向かっています。なお、入院はしていません。

１ 探知

６月２１日（水）１５時３４分頃、福井県健康福祉部健康医療局医薬食品・衛生課から、「鯖江市内の医療機関から福井県丹南健康福祉センターに、アニサキス虫体が提出されたことに伴い、食中毒患者等発生届の提出があり、患者調査したところ、生食用生鮮魚介類の喫食は福井市内の施設のみである。」との連絡が福井市保健所にありました。

患者は６月２０日（火）１８時頃から当該飲食店を利用し、「寿司（マグロ、タチウオほか）、刺身（ブリ、シマアジほか）」を喫食しました。

６月２１日（水）４時３０分頃、腹痛を発症。同日７時４０分頃に鯖江市内の医療機関を受診し、内視鏡によりアニサキス虫体を摘出され、胃アニサキス症と診断されました。

２ 調査結果

市保健所は、本件を次のような理由からアニサキスによる食中毒と断定しました。

○当該飲食店が提供した「寿司（マグロ、タチウオほか）、刺身（ブリ、シマアジほか）」の喫食を起点とする潜伏期間や患者の症状が胃アニサキス症と類似していました。

○患者は胃アニサキス症の潜伏期間中に、当該飲食店での食事以外に生鮮魚介類を喫食していませんでした。

○当該飲食店では「マグロ、タチウオ、ブリ、シマアジ」を冷凍することなく、調理提供していました。

○患者からアニサキス虫体が摘出されました。

○医師からの当該患者に関する食中毒患者等発生届出がありました。

【患者等の状況：６月２２日（木）１４時現在】

患者

　発症日時 令和５年６月２１日（水） ４時３０分頃

症状 腹痛

患者数 １名【男性１名（７０代）】

原因物質 アニサキス（寄生虫）

原因施設

飲食店名 ：ほまれ寿司／牛成

店舗所在地：福井市

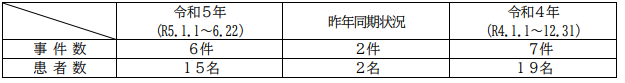
許可業種 ：飲食店（社交飲食）

原因食品 ６月2０日（火）に当該施設が調理提供した「寿司（マグロ、タチウオほか）、刺身（ブリ、シマアジほか）」

３ 行政処分等

福井市は、「ほまれ寿司／牛成」に対して、本日、食品衛生法に基づき飲食店（社交飲食）の営業を６月２２日（木）の１日間営業停止処分にするとともに、調理工程・衛生管理方法等の検証および改善、従事者の衛生教育の徹底を指示しました。

４ 市内における食中毒発生状況（令和５年６月２２日（木）１４時現在 今回の事件を含む）



**■食中毒発生状況　2023/5/30　大分県佐伯市**

**アニサキス**

<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2190333.pdf>

　発生場所　佐伯市

　発生月日　2023/5/30

　摂食者数　3

　患者数　1

　病因物質　アニサキス

　原因食品　イワシの酢漬け

　原因施設　家庭

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■****腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について　2023/6/28　岡山県岡山市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000050/50780/20230628_O157.pdf>

　１ 発 生 日　発生 令和５年６月２６日（月） 速報 令和５年６月２８日（水）

２ 患 者 数　１名 （男、２０代）

３ 概 要

(1)経 過

6 月 19 日（月） 患者（岡山市）は、発熱及び倦怠感の症状を呈した。

6 月 22 日（木） 患者は岡山市内医療機関（診療所）を受診。

6 月 23 日（金） 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関（病院）を受診し、同日同医療機関へ入院。

6 月 26 日（月） 検査の結果、腸管出血性大腸菌（O１５７）によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

・患者は退院し、症状は軽症化している。

・感染源は不明。

　　　・現在のところ散発事例と考えている。

４ 参 考（患者発生状況）

テーブル

自動的に生成された説明

**腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について　2023/6/28　岡山県岡山市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000050/50780/20230628_O157.pdf>

１ 発 生 日　発生 令和５年６月２７日（火） 速報 令和５年６月２８日（水）

２ 患 者 数　１名 （女、２０代）

３ 概 要

(1)経 過

6 月 18 日（日） 患者（岡山市）は、発熱の症状を呈した。

6 月 20 日（火） 患者は岡山市内医療機関（病院）を受診。

6 月 22 日（木） 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関（病院）を受診。

6 月 27 日（火） 検査の結果、腸管出血性大腸菌（O１５７）によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

・患者の症状は軽症化している。

・感染源は不明。

　　・現在のところ散発事例と考えている。

４ 参 考（患者発生状況）

テーブル

自動的に生成された説明

**腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について　2023/6/27　岡山県岡山市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000050/50780/20230627_o.pdf>

　１ 発 生 日　発生 令和５年６月２４日（土） 速報 令和５年６月２７日（火）

２ 患 者 数　１名 （女、幼児）

３ 概 要

(1)経 過

6 月２０日（火） 患者（岡山市）は、腹痛及び泥状便の症状を呈し、岡山市内医療機関（診療所）を受診。

6 月２２日（木） 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関（診療所）を受診。

６月２４日（土） 検査の結果、腸管出血性大腸菌（O１５７）によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

　　　・患者の症状は軽症化している。

　　　・感染源は不明。

　　　・現在のところ散発事例と考えている。

４ 参 考（患者発生状況）

テーブル

自動的に生成された説明

**腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について　2023/6/27　岡山県岡山市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000050/50780/20230627_o.pdf>

　１ 発 生 日　発生 令和５年６月２６日（月） 速報 令和５年６月２７日（火）

２ 患 者 数　１名 （男、１０代）

３ 概 要

(1)経 過

6 月１８日（日） 患者（岡山市）は、腹痛の症状を呈した。

6 月２０日（火） 患者は岡山市内医療機関（診療所）を受診。

　　　6 月 21 日（水） 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関（診療所）を受診。

6 月２６日（月） 検査の結果、腸管出血性大腸菌（O１５７）によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

・患者の症状は軽症化している。

・感染源は不明。

　　　・現在のところ散発事例と考えている。

４ 参 考（患者発生状況）

テーブル

自動的に生成された説明

**腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について　2023/6/27　岡山県岡山市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000050/50780/20230627_o.pdf>

　１ 発 生 日　発生 令和５年６月２６日（月） 速報 令和５年６月２７日（火）

２ 患 者 数　１名 （男、3０代）

３ 概 要

(1)経 過

6 月２２日（木） 患者（岡山市）は、腹痛及び泥状便の症状を呈した。

6 月２３日（金） 岡山市内医療機関（病院）を受診し、入院。

６月２６日（月） 検査の結果、腸管出血性大腸菌（O１５７）によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

・患者は入院中だが、症状は軽症化している。

・感染源は不明。

・現在のところ散発事例と考えている。

４ 参 考（患者発生状況）

テーブル

自動的に生成された説明

**■20代女性が「O157」感染…島根県内で今年4人目**

**6/25(日) 15:13配信　BSS山陰放送　島根県出雲市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5c59d2d08dffd457884aa7ac50c4678e13e3873e>

**腸管出血性大腸菌（Ｏ１57）感染症患者の発生について　2023/6/24　島根県出雲市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O157**

<https://www3.pref.shimane.jp/houdou/uploads/159520/140622/17cea1aceb35a6241da05e9990ae619f.pdf>

　１ 概要

６月２３日、出雲市内の医療機関から出雲保健所に腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７）感染症患者　の届出がありました。現在、出雲保健所が患者及び接触者について健康調査並びに行動調査を実施しています。

２ 患者

出雲市在住 60代 男性

症 状：腹痛、下痢、血便

経 過：６月 １９日 腹痛

　　　　　 ２１日 下痢、Ａ医療機関を受診

Ｂ医療機関を受診後、入院

入院後、血便

２３日 検査結果が判明し、Ｂ医療機関から出雲保健所へ 腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７）感染症患者の届出

現在、患者は入院中ですが、回復傾向にあります。

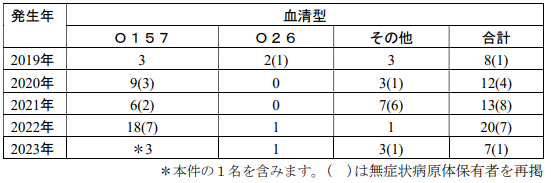
３ 対応状況

・患者及び接触者の健康調査（検便等）と行動調査等

・手洗いなど、二次感染予防の指導

・家庭のトイレ等の消毒指導

　【参考】県内の腸管出血性大腸菌感染症患者及び無症状病原体保有者の発生状況



**■13人の感染を報告　過去５年で最多更新　2023/6/23　タウン二ユース　神奈川県川崎市**

**感染症　腸管出血性大腸菌　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www.townnews.co.jp/0206/2023/06/23/684297.html>

**★ウイルスによる感染症★**

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年６月２８日 １６：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/111206/1/050628noro.pdf?20230628155642>

東区内の保育施設で、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 東区内の保育施設

（１）経緯

６月２４日（土） ３名の園児に嘔吐、下痢等の症状が出現。

以後、複数の園児に嘔吐、下痢等の症状が出現。

６月２７日（火） 当該施設より、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

６月２８日（水） 当該施設より、新たな有症状者が発生していると報告があった。

東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を再度指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**■つつが虫病で今年初死亡者　青森県内　ダニが原因、草地に注意**

**6/27(火) 9:14配信　Web東奥**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a04ac7d379a1401dd42662749b05b34b1a7fc13d>

**つつが虫病患者(死亡例)の発生がありましたのでお知らせします　2023/6/26　青森県**

**青保号外　青森県健康福祉部保健衛生課長**

<https://www.pref.aomori.lg.jp/release/2023/73876.html>

<https://www.pref.aomori.lg.jp/release/files/2023/73876.pdf>

　　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項の規定に基づき、青森市保健所管内の医療機関から同保健所に「つつが虫病」の発生届がありました。

つきましては、別紙「つつが虫病に注意しましょう！」の予防対策や医療機関への早期受診について、県民への呼びかけをお願いします。

１ 患者 ８０歳代 女性

２ 経過

令和５年６月上旬 発症

令和５年６月８日 医療機関入院

令和５年６月１３日 死亡

３ 主な症状等 発熱、発疹、体動困難、刺し口

＜参考＞

1. 本県における「つつが虫病患者」の報告状況（年次）
2. 「つつが虫病・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に注意しましょう！」  
   （青森県庁ホームページ）

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/2008-0630-orienntia_tsutsugamushi.html>

※ダニの刺し口の画像を掲載しています

**■栃木県内 保育園で感染性胃腸炎の集団発生か**

**06月23日　18時33分　栃木 NEWS WEB****栃木県**

**感染症　アストロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/utsunomiya/20230623/1090015190.html>

**感染性胃腸炎の集団発生について　2023/6/23　栃木県**

**感染症　アストロウイルス**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/kansensaiyou/documents/20230623kansenseiichouen.html>

概 要

感染症名：感染性胃腸炎(5類感染症)【原因病原体：アストロウイルス】

・集団発生の時期：令和5(2023)年6月7日(初発)

・集団発生の場所：県南健康福祉センター管内の保育園

・発症の状況：令和5(2023)年6月7日～令和5(2023)年6月23日、計33名（園児33名）

・経過：

　　 令和5(2023)年6月12日、県南健康福祉センター管内の保育園から複数の園児が、下痢、嘔吐等の症状を呈しているとの連絡があり、同日、同センターで調査及び指導を実施した。

　　　また、6月14日から6月16日に保健環境センターにおいて4名の検体（便）の検査を実施した結果、2名の検体からアストロウイルスが検出された。重症者はなく、発症者は全員快方に向かっている。

県の対応

県南健康福祉センターでは、当該情報の探知後、当該施設における予防対策（園児及び職員の健康管理、手洗い等の励行、汚物等の適切な処理等の迅速な対応）及び消毒について、指導等を実施するとともに、当該施設における発症者等の調査、原因追及のための感染源の調査を実施した。

栃木県内で報告のあった感染性胃腸炎集団発生（30名以上の患者報告数）状況（宇都宮市を含む）

平成30年 8施設（障害者施設1、小学校2、中学校1、保育所3、幼稚園1）

令和元年10施設（高齢者施設1、障害者施設1、小学校1、学校1、保育所6）

令和2年0施設

令和3年12施設（障害者施設1、保育所7、認定こども園4）

令和4年3施設（保育所2、認定こども園1）

令和5年11施設（高齢者施設1、保育所5、認定こども園5）※今回発生事例含む

**■感染性胃腸炎の集団発生について 令和５年６月２３日 １６：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/111206/1/050623noro.pdf?20230626150816>

東区及び南区内の保育施設で、複数の園児等が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 東区内の保育施設

（１）経緯

６月１９日（月） １名の園児に下痢の症状が出現。

以後、複数の園児に嘔吐、下痢等の症状が出現。

６月２１日（水） 当該施設より、複数の園児が下痢の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

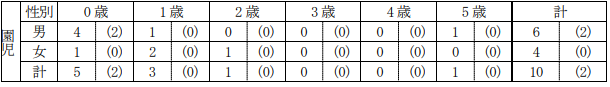
東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

６月２２日（木） 当該施設より、新たな有症状者が発生していると報告があった。

東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を再度指導した。

６月２３日（金） 東保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止等を改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数



1. 有症状者の発症状況



（４）症状 　 嘔吐、下痢、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導

**■旭川市内の保育所でノロウイルスの集団感染**

**06月22日　19時48分　北海道 NEWS WEB　北海道旭川市**

**佐藤先生からいただいた情報です**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20230622/7000058572.html>

**■盛岡市で感染性胃腸炎の患者が増加 警報レベルに迫る**

**06月21日　19時43分　岩手 NEWS WEB　岩手県盛岡市**

**感染症　ノロウイルス　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/morioka/20230621/6040018061.html>

**★その他の感染症★**

**■米南部で5人がマラリアに感染　20年ぶりの感染拡大**

**6/27(火) 11:38配信　スポニチアネックス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/41404956b6f789c9aff3d6680cb618129a1dca21>

**★違反食品★**

**■不利益処分等のお知らせ　2023/6/29　港区**

**イマザリルが0.0090g/㎏検出**

<https://www.city.minato.tokyo.jp/shokuhinkanshi1/kurashi/shokuhin/anzen/kyoka.html>

　公表年月日　令和5年6月29日

違反食品等　品名(ブランド名)　グレープフルーツ（TOPPINS（SR）-L48-06)

数量　4,875箱

違反内容

厚生労働大臣が定める添加物の使用基準を超えてイマザリルが0.0090g/㎏検出されました。

主な適用条項　食品衛生法第13条第2項、同法第59条第1項

輸出国 トルコ

違反食品等の輸入者氏名　伊藤忠商事株式会社

住所　東京都港区北青山二丁目5番1号

法人番号　7120001077358

不利益処分等の内容及び措置状況

令和5年6月29日、販売禁止命令を行いました。

該当食品は、生鮮食品であり長期保管が困難であったため、保管場所を所管する保健所職員立ち会いの下、事前に廃棄されました。

備考 添加物の使用基準では、イマザリルは、イマザリルとして、かんきつ類（みかんを除く。）にあってはその1kgにつき0.0050gを超えて残存しないように使用しなければならないとされています。

**■大分、鶏レバーの回収を命令　食中毒恐れの菌検出、中津市の食肉加工メーカーが販売**

**2023/06/27 19:53　サンスポ　大分県中津川市**

**大腸菌群などを検出**

<https://www.sanspo.com/article/20230627-XYQIUDEAIFNOBBTRPMHGP42KQQ/>

**加熱食肉製品(鶏レバーハム)の回収等について　2023年6月27日　大分県中津川市**

**大腸菌群などを検出**

<https://www.pref.oita.jp/site/suishin/kennnaikaisyu.html>

　令和５年６月２７日、北部保健所が株式会社Meフードシステムに対し、加熱食肉製品（鶏レバーハム）の回収命令・販売禁止命令を行いましたので、お知らせします。

１　回収する食品の情報

（１）製造者

　　　株式会社Meフードシステム　代表取締役　桝田　治基

　　　（住所：大分県中津市大字島田字今井河原１８２番地７）

（２）販売先

　　 ・株式会社クレアス（北九州市八幡西区養福寺町1-5FTビル２F）

　 ・トリゼンフーズ株式会社(福岡市博多区千代1丁目8‐13)

※調査中

（３）回収等の対象品

　　　鶏レバーハム（加熱食肉製品（加熱後包装））

　　　賞味期限が(a)２０２４年３月２０日、(b)３月２７日、(c)４月２３日、(d)５月１７日のもの　(c)、(d)については出荷前であり、全量を会社にて保管中。

（４）違反事項　食品衛生法第１３条第２項

　　　　（詳細）E.coli陽性（(a)～(d)の４検体すべて）、サルモネラ属菌陽性（(b)、(c)の２検体）

　　　　（参考）加熱食肉製品（加熱後包装）の成分規格

　　　　　　　　・E.coli陰性でなければならない。

　　　　　　　　・黄色ブドウ球菌が、検体1gにつき1,000以下でなければならない。

　　　　　　　　・サルモネラ属菌陰性でなければならない。

２　措置

北部保健所は製造者に対し、(a)と(b)については製品の回収、(c)と(d)については販売禁止を、食品衛生法第５９条第１項に基づき命令した。

3 商品の写真

文字の書かれた紙

低い精度で自動的に生成された説明

４　回収に関する連絡先

　株式会社Meフードシステム　TEL：0979-64-8111

　なお、株式会社Meフードシステムは６月２２日（木曜日）から(a)の製品について自主回収を行っている。

**■施設等に対する行政処分等　2023/6/20　青森県つがる市**

**アイスクリームの成分規格及び製造の方法の基準違反**

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/violation01.html>

　被処分者等の住所・氏名

青森県平川市新屋町道ノ下35-2　タグボート株式会社　代表取締役　水口清人

　行政処分等の対象となった食品等

　　アイスクリーム（農家の刺客）

(1)メロン＆レモン味

(2)メロン＆マロン味

(3)スイカ＆しお味

(4)カシス＆ベリー味

(5)りんご＆シナモン味

(6)メロン＆チョコ味

(7)トマト＆バジル味

　被処分施設等の所在地・名称

青森県つがる市柏下古川花崎112-2　「農家の刺客」つがる市FACTORY

　行政処分等を行った理由

　　食品衛生法第13条第2項違反（アイスクリームの成分規格及び製造の方法の基準違反）

　行政処分等の内容　改善勧告（文書による指導）

　行政処分等を行った措置状況　令和5年6月20日改善勧告

**■食品等に関する行政処分　2023/6/2　宮城県塩竃市**

**大腸菌群陽性**

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/shoku-k/ihansha-syokuhin.html>

　公表年月日　2023/6/2

　違反食品名等　焼ちくわ（魚肉ねり製品）

　違反条項　食品衛生法第13条第2項

　違反内容　大腸菌群陽性（基準：陰性）

　違反食品製造者等氏名　勝山水産株式会社

　違反食品製造施設等所在地　塩竃市

　行政処分等の内容及び措置状況等　回収命令　処分年月日：令和5年6月2日

**★その他関連ニュース★**

**■学校給食における賞味期限切れジャムの提供について　2023/6/23　長野県長野市**

**長野市（教育委員会）プレスリリース**

<https://www.city.nagano.nagano.jp/documents/13584/0623_04.pdf>

　　第二学校給食センターから提供したジャムに、賞味期限が切れたものが混入していましたので、その内容と対応についてお知らせいたします。

なお、現時点で本件による生徒、教職員への健康被害の報告はありません。

※ 本日の取材は、午後９時まで電話での問い合わせに対応いたします。

１ 発生日 令和５年６月 23 日（金）

２ 提供施設 第二学校給食センター（篠ノ井東福寺）

　　提供中学校５校：篠ノ井東、篠ノ井西、松代、川中島、広徳中学校

提供数：2,807 個

３ 状 況 広徳中学校で、生徒がジャムを喫食後、2023 年４月 22 日で賞味期限が切れていることを発見したもの

４ ジャムについて

長野県産のあんずを使用した 1 袋 15ｇの小分けのあんずジャムで、提供した 2,807 個のうち、賞味期限が切れた 80 個が紛れていたものである。

なお、ジャムは給食センターで冷蔵保存されていた。

５ 対応状況

同日 13 時頃、電話にて広徳中学校から同給食センターに、生徒３人が賞味期限切れのジャムを喫食したとの連絡があった。

同日、保護者あてに、学校から緊急メールにて謝罪と健康状態の確認を行った。

なお、本事案は、保健所にも報告済である。

**■熊本県内全域に食中毒注意報　昨年より3週間早く**

**熊本日日新聞 | 2023年6月29日 17:50**

<https://kumanichi.com/articles/1092806>

**■今季初の食中毒警報　札幌市保健所　会員限定記事**

**2023年6月26日 16:44　北海道新聞　北海道札幌市**

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/867867>

**■食中毒警報の発令について（紋別保健所第５号）　2023/6/26　滝上町**

<https://town.takinoue.hokkaido.jp/chosei/oshirase/20230626-01.html>

　食中毒警報の発令について（紋別保健所第５号）

発令日時

・６月２６日（月）　１０：００　発令　（９６時間）

発令解除日時

・６月３０日（金）　１０：００　解除

紋別保健所管内全域　：　発令基準①

【食中毒警報について】

　　例年夏季は、高温多湿及び海水温の上昇などにより、特に細菌性食中毒が多発する傾向に

　あります。

　　そこで、細菌性食中毒の発生しやすい気象条件が成立した場合等に食中毒警報を発令し、

　一般家庭及び食品関係営業者等に対して食品衛生に関する注意を喚起し、食中毒の発生を未

　然に防ぐため、食中毒警報の発令をしています。

【発令基準】

1. 最高気温２８℃以上が予想される場合
2. 前２日間のそれぞれの日最低気温が２０℃以上で、かつ、湿度が８５％以上の場合
3. 前２日間のそれぞれの日平均気温が２３℃以上で、かつ、湿度が８５％以上の場合
4. その他保健所長が特に必要と認める場合

【夏季における食中毒予防について】

　　細菌による食中毒が多発する時期になりました。

　食中毒を予防するためには、食品の細菌汚染を防ぐことが重要です。

　食品取扱ついては、①つけない、②ふやさない、③やっつけるという食中毒予防の三原則を守り、食中毒を起こさないようにしてください。

1. つけない（食品に細菌を付けないために）

　　調理の前、また、調理中に、手をよく洗ってください。食器、まな板やふきんなどの調理器具の消毒　（熱湯・塩素系漂白剤等）は、食品への二次汚染を防ぐために大切です。

1. ふやさない（食品で細菌を増殖させないために）

　　買ってきた食品は、室温に放置せず、できる限り早く調理し、調理したものは、早く食べてください。　細菌は冷却しても死にませんが、増殖しにくくなります。食品を保管する場合は１０℃以下を目安に冷却してください。

1. やっつける（食品中の細菌などの病原体をやっつける）

　　細菌は熱に弱く、たいていの菌は死んでしましますので、食品はなるべく火をとおしてください。

　　また調理器具の殺菌・消毒も念入りに行ってください。

**■上川地方全域に食中毒警報 食品の取り扱いに十分注意を**

**06月26日　11時30分　北海道 NEWS WEB**

<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20230626/7000058637.html>

**■オホーツク全域に食中毒警報 北見市３２度予想で注意呼びかけ**

**06月26日　11時10分　北海道 NEWS WEB**

<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20230626/7000058633.html>

**■急増する子どもの発熱患者　夏風邪の一種“ヘルパンギーナ” 　ワクチン無し、主な感染経路は飛沫・接触　6/29(木) 19:05配信　メ〜テレ（名古屋テレビ）**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d0745eba6062b66b4a780e2f93c4d63b8e8087a4>

**■【感染症情報】RSウイルスが6週連続で増加 - インフルエンザは4週連続で減少**

**6/27(火) 16:40配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/142303cb54a944c7ebee16b334a3092e47ce62f9>

**■ヘルパンギーナ流行拡大、11都府県で警報レベル - 37都道府県で前週を上回る**

**6/27(火) 14:24配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/62312e030ee2ac170c54af14053d7f05a757cfe8>

**■【感染症アラート・本格的な流行】ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱など6つ**

**6/27(火) 11:46配信　感染症・予防接種ナビ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/62a92d0a030c0e0c81441dcb24da1ac95b102e78>

**■宮崎県内で感染症同時流行　新型コロナ、インフル、ヘルパンギーナ増加**

**6/27(火) 9:29配信　宮崎日日新聞**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/568d5528b284480399fc541db7da99a93e1280dd>

**■ヘルパンギーナ、首都圏で流行拡大 - 東京では警報基準を超える**

**6/26(月) 15:30配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/acab2c7486bb49b301ffac6859fcd642781c780d>

**■インフル、10月にも流行か　南半球で増加、往来も再開　専門家「大規模化の恐れ」**

**6/26(月) 7:02配信　時事通信**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/abb408ae2820f2c973f79845c02b1ab3bde491b4>

**■インフル患者4週連続減、学級閉鎖なども減少傾向 - 厚労省が第24週の発生状況を公表**

**6/23(金) 21:10配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5135657a45bdaf4556ada0b04405db9221fe2fa5>

**■新型コロナは「エンデミック」へ　実態不明のまま増減を繰り返しつつ常在化〈AERA〉**

**6/27(火) 8:00配信**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d13727fef23a45ae58f05c45197270be1371b634>

**■沖縄の「隠れコロナ」見えぬ実態　「多忙」「有料」で検査せず　「既に第9波」医師は危機感**

**6/27(火) 7:32配信　沖縄タイムス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ac07ddb4ee54c0204542c3a372a2cb6214fd156e>

**■【感染症ニュース】新型コロナウイルスの流行株はXBB.1系統に移行 ワクチンや今後の流行は? 梅雨明けは注意　6/27(火) 7:00配信　感染症・予防接種ナビ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7fb1c2709ef195508d724deb2cc4b5d3512bdd0c>

**■沖縄でコロナ感染急拡大「医療崩壊する」と悲痛な声　再び自粛生活に戻る必要があるのか？〈dot.〉　6/25(日) 10:30配信**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2f21c78ce45a4548bfa89f52b7537ff0545fde44>

**■岡山県内全域に「腸管出血性大腸菌注意報」　岡山市の女性からＯ－１５７検出【岡山】**

**6/23(金) 17:50配信　OHK岡山放送**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/178f3a172ab94cf8741ccc9e616eee8d84854264>

**「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令します　2023/6/23　岡山県**

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/862041_8189134_misc.pdf>

　腸管出血性大腸菌感染症の発生が増加しており、今後もこの傾向が続く可能性があることから、県では、本日、「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を県下全域に発令し、県民への注意喚起を図ることとしました。

６月に入ってからの当該感染症の患者等の数が 10 人以上となり、これから発生数が増加する時期を迎えることから、予防方法等の注意を呼びかけるものです。

注意報発令後、当該感染症の発生防止及びまん延防止のため、次の内容について、県内の保健所及び関係機関を通じて速やかに周知することとしています。

記

１ 県民への普及啓発

・関係機関（保健所、市町村等）への周知及びチラシの作成・配布

・県の HP 等広報媒体による普及啓発

・市町村広報誌への掲載依頼

２ 主な周知内容

（１）予防方法

・調理前、食事前、排便後、動物を触った後は手をよく洗いましょう。

・台所は清潔に保ち、まな板、ふきん等の調理器具は十分に洗浄消毒をしましょう。

・生鮮食品や調理後の食品を保存するときは冷蔵庫（10℃以下）で保管し、早めに食べましょう。

・食肉など加熱して食べる食品は、中心部まで火を通すとともに、焼き肉などの際は生肉を扱うはしと食べるはしを別々にしましょう。

・乳幼児や高齢者等、抵抗力の弱い人は、生や加熱不十分な肉を食べないようにしましょう。

（２）気になる症状があるときは、医師の診断を受けましょう。

・主な初期症状は、「腹痛」、「下痢」などで、更に進むと水様性血便になります。

（３）患者からの二次感染に気をつけましょう。

・二次感染を防止するため、患者の便に触れた場合は、手をよく洗い消毒をしましょう。

・患者が入浴する場合は、シャワーのみにするか、最後に入浴するなどしましょう。

・患児が家庭用ビニールプールで水浴びをする場合、他の幼児とは一緒に入らないようにしましょう。

・なお、患者が衛生に配慮をすれば、二次感染は防止できますので、外出の制限等は必要ありません。

【岡山県内の感染症情報】

健康推進課　<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/36/>

岡山県感染症情報センター　<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/309/>

岡山県感染症情報メールマガジン（毎週金曜日に感染症情報を配信します。）

<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-97672.html>

**■有名温泉街「足湯」11カ所中4カ所から「レジオネラ菌」検出！　本誌取材で「営業休止」の施設も【独自調査】　6/27(火) 6:02配信　SmartFLASH**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4de36cc3a56999f5cd1add23d8c46c110fc5d01f>

**■浴槽からレジオネラ菌　習志野市の高齢者施設、利用を停止　千葉**

**6/24(土) 11:32配信　千葉日報　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/40897458b414a014cbcc3811b526f83f7c5a5504?source=sns&dv=pc&mid=art08t2&date=20230624&ctg=loc&bt=tw_up>

**■「加田の湯」の石風呂と岩風呂からレジオネラ菌検出　島根県飯南町立の入浴施設**

**2023/6/23　中國新聞デジタル　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/322938>

**■全て水質基準クリア　茨城県内16海水浴場調査**

**6/24(土) 7:00配信　茨城新聞クロスアイ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/954f179c22704313d31b9c2d2ad2a7fba43e83fb>

**■食中毒予防へ衛生管理を　北里大生が小冊子　2023/6/26　WEB東奥**

<https://www.toonippo.co.jp/articles/-/1583113>

**■カネミ油症で初の”次世代調査”の結果を公表　6/23(金) 21:28配信**

**KTNテレビ長崎**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a4b3958f4371f5cd0b0a8ebbddf981666ed3d3b8>